

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>イムス富士見総合病院子育て支援委員会及び日本大学医学部附属板橋病院虐待対策委員会の介入を要したマルトリートメント児の虐待リスク因子等に関する多施設共同研究</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 小児科新生児科（研究責任者）森岡一朗</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2022年 3月 31日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>この研究では日本大学医学部附属板橋病院虐待対策委員会が介入したマルトリートメント児（不適切な養育を受けている児）について、診療録の追跡調査を行います。この研究により、虐待予防または虐待早期発見への貢献が期待でき、また、二次医療機関であるイムス富士見総合病院と三次医療機関における日本大学医学部附属板橋病院の虐待リスク因子の特徴を理解することで、各医療機関に合った虐待抑止策の強化に繋がる可能性があります。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>診療録から下記の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none">・患者情報：年齢、性別、居住地、来院時間、行政や警察機関の介入歴・子どものリスク因子：発達障害、慢性疾患、医療的ケア児、低出生児・養育者のリスク因子：知的・発達障害、アルコール・薬物依存、若年出産・望まない妊娠・妊婦健診初診が22週以降、親の被虐待歴・環境のリスク因子：ひとり親・ワンオペ育児、貧困、モラルハラスメント、ステップファミリー、多子家庭、ワクチンや乳児健診の不備、不登園・不登校、不衛生、外国籍、支援(医療的ケアなど)を要する同胞・身体的虐待を疑う兆候：皮下出血、骨折、揺さぶり、眼底異常、頭蓋内病変、腹部外傷、多数の齲歯、院外心肺停止・心理的虐待を疑う兆候：暴言、兄弟間で接し方に極端な差がある・ネグレクトを疑う兆候：体重増加不良、医療機関未受診、登園・登校させない、不衛生、情緒的ケアを行わない等・性的虐待を疑う兆候：性行為年齢にない児の性感染症
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>承認日～2021年3月31日までに当院の虐待対策委員会が介入したマルトリートメント児</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>当院および代表研究機関であるイムス富士見総合病院で収集した臨床情報をもとに解析を行います。</p>

<外部への試料・情報の提供等>

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。臨床情報記録を印刷し、原本を研究事務局に追跡できる方法で発送し、データも送信します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、解析時以外はイムス富士見総合病院小児科の鍵のついた金庫に保管します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

<研究組織>

【代表研究機関】

イムス富士見総合病院 小児科 研究代表者:森内 優子

【研究参加施設】

日本大学医学部附属板橋病院 小児科新生児科 研究代表者:森岡 一郎

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

小児科新生児科 氏名:森岡 一郎

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2440

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)